

# 科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教員名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	金曜日 金曜日	2校時 2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>初級文法の基礎の上に、物語などのドイツ語文章を読む力を身につける。</p> <p>前期は平易なドイツ語で書かれたものを読む。テキストは、映画『サウンド・オブ・ミュージック』のもとになった実話“Ein Herz und eine Seele”を教科書用に書き直したもので、詳しい注や文法の練習問題が付いている。ストーリーの面白さを楽しむことが出来ると同時に、文法の基礎を確認し、基本的な語彙を確実に身につけるのに役立つ読み物である。</p> <p>後期は現代作家の短編小説を2～3篇読む。どれもごく短いものであるが、物語の背景は多彩で、未知の世界、社会に触れることが出来る。</p> <p>教室では和訳や作文を発表してもらい、それを検討することが中心になる。</p> <p>テープを聞いて文章の朗読の練習もおこなう。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキストは2冊使用する。</p> <p>『ヴィルヘルム：トラップ家物語』 小林佳世子 他 編、三修社 『現代六人小品集』 成田英夫 他 編、三修社</p>								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
2P18	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10%）を考慮して評価する。							
授業計画								
<p>1回の授業で4～5人の人に和訳を発表してもらおう。前もって割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。折に触れていくつかの文法事項に焦点をあてる。</p> <p>前期 のテキスト 第一回～第五回 一章～五章 動詞の人称変化など 第六回～第十回 六章～十章 動詞の三基本形など 第十一回～第十四回 十一章～十四章 話法の助動詞、関係代名詞など</p> <p>後期 のテキスト 第一回～第六回 第一話 Gitte wartet auf der Brücke 第二話 Bestrafung eines Gastes zu不定詞、副文など 第七回～第十四回 第二話 Bestrafung eines Gastes 第三話 Die Charakterprobe 現在完了、接続法、また代名詞の用法など</p>								